

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 8 月 9 日 (2007.8.9)

【公表番号】特表 2003-502341 (P2003-502341A)

【公表日】平成 15 年 1 月 21 日 (2003.1.21)

【出願番号】特願 2001-503886 (P2001-503886)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/52 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 14/52 Z N A

A 6 1 P 25/00

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 15 日 (2007.6.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 18 ～ 40 個のアミノ酸を有する単離されたペプチドであって、配列番号 1 に示す配列を含み、レトロ - インベルソなペプチドである、前記ペプチド。

【請求項 2】 前記配列内の少くとも 1 つの塩基性荷電アミノ酸が、異なる塩基性荷電アミノ酸により置換されている、請求項 1 のペプチド。

【請求項 3】 前記配列内の少くとも 1 つの酸性荷電アミノ酸が、異なる酸性荷電アミノ酸により置換されている、請求項 1 又は 2 のペプチド。

【請求項 4】 前記配列内の少くとも 1 つの非極性アミノ酸が、異なる非極性アミノ酸により置換されている、請求項 1 ～ 3 のいずれかのペプチド。

【請求項 5】 前記配列内の少くとも 1 つの非荷電アミノ酸が、異なる非荷電アミノ酸により置換されている、請求項 1 ～ 4 のいずれかのペプチド。

【請求項 6】 前記配列内の少くとも 1 つの芳香族アミノ酸が、異なる芳香族アミノ酸により置換されている、請求項 1 ～ 5 のいずれかのペプチド。

【請求項 7】 前記ペプチドが、そのアミノ末端で、カルボキシ末端で、又はアミノ末端及びカルボキシ末端の両方で、 CH_3CO 、 $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_n\text{CO}$ 、 $\text{C}_6\text{H}_5\text{CH}_2\text{CO}$ 及び $\text{H}_2\text{N}(\text{CH}_2)_n\text{CO}$ 、ただし $n = 1 \sim 10$ 、から成る群から独立に選択された部分により修飾されている、請求項 1 ～ 6 のいずれかのペプチド。

【請求項 8】 前記ペプチドがグリコシル化されている、請求項 1 ～ 7 のいずれかのペプチド。

【請求項 9】 前記ペプチド内の 1 又は複数のアミド結合が還元されている、請求項 1 ～ 8 のいずれかのペプチド。

【請求項 10】 前記ペプチド内の 1 又は複数の窒素がメチル化されている、請求項 1 ～ 9 のいずれかのペプチド。

【請求項 11】 前記ペプチド内の 1 又は複数のカルボン酸基がエステル化されている、請求項 1 ～ 10 のいずれかのペプチド。

【請求項 12】 前記ペプチドが、配列番号 1 に示すアミノ酸配列 から成る、請求項 1 ～ 11 のいずれかのペプチド。

【請求項 13】 18～40個のアミノ酸を有し、かつ配列番号1に示す配列を含んでいるレトロ・インベルソなペプチド、及び医薬上容認される担体を含んでなる組成物。

【請求項 14】 神経突起の成長又はミエリン形成を促進することが必要な哺乳動物（ヒトを除く）において、神経突起の成長又はミエリン形成を促進するための方法であつて、神経突起の成長又はミエリン形成を促進するために有効な量の、18～40個のアミノ酸を有し、かつ配列番号1に示す配列を含んでいるレトロ・インベルソなペプチドを含んでなる組成物を前記哺乳動物（ヒトを除く）に投与する過程を含んでなる、前記方法。

【請求項 15】 前記ペプチドが、配列番号1に示すアミノ酸配列から成る、請求項14の方法。

【請求項 16】 前記の投与過程が、直接的な局所注射、全身性、頭蓋内、脳脊髄内、局所及び経口投与からなる群から選択される、請求項14～15のいずれかの方法。

【請求項 17】 その必要のある哺乳動物において神経突起の成長又はミエリン形成を促進する際に用いるための、18～40個のアミノ酸を有し、かつ配列番号1に示す配列を含んでいるレトロ・インベルソなペプチド。

【請求項 18】 前記ペプチドが、配列番号1に示すアミノ酸配列から成る、請求項17のペプチド。

【請求項 19】 前記哺乳動物が人間である、請求項17又は18のペプチド。

【請求項 20】 その必要のある哺乳動物において神経突起の成長又はミエリン形成を促進するための薬物を調製することにおける、18～40個のアミノ酸を有し、かつ配列番号1に示す配列を含んでいるレトロ・インベルソなペプチドの使用。

【請求項 21】 前記ペプチドが、配列番号1に示すアミノ酸配列から成る、請求項20の使用。

【請求項 22】 前記哺乳動物が人間である、請求項20又は21の使用。